



平成 22 年 3 月 20 日、いわて花巻空港のアクセス道路である一般県道東宮野目二枚橋線（通称：空港アクセス道路）の環境整備（法面の立木伐採）を、地域住民と協働で行いました。

いわて花巻空港のターミナル移転・空港アクセス道路の開通から約 1 年が経過しましたが、地域住民から「アクセス道路の法面に繁茂しているイタチハギやヤナギの木が空港の表玄関としての景観を損ねている」などの指摘があったことから、県南広域振興局花巻土木センター（旧花巻総合支局土木部）と花巻空港事務所が、地域住民・平行誘導路工事業者（地域貢献）と協働で法面の立木伐採を行ったものです。

当日は、年度末の多忙な時期にも関わらず、地域住民約 10 名・工事関係者約 20 名・県関係者約 10 名の約 40 名が参集し、新ターミナル前から源明地下道東口までの約 800m 区間の伐採作業を約 3 時間かけて行いました。

急な法面と膨大な本数の立木の処理で作業は大変でしたが、伐採後の見違える様な景色に、参加者一同が「これでお客様を気持ちよく迎え入れられる」という喜びと爽快感に浸り、爽やかな汗と共に喜びを分かち合いました。

